



老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」を取材して、その人の言葉で四日市の魅力などを読者に伝えるコーナーです。
 CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。
 放送日時：4月11日～5月10日 9:00・20:30
 FMよっかいち「わいわい人探訪」でも上野さんを紹介しています。
 放送日時：4月の毎週日曜日 8:54・14:54

○自分にできることから始めました

もともと鉄道の旅が好きで、全国各地の鉄道に乗っていました。内部・八王子線がなくなってしまうかもしれないと聞いたとき、この貴重な鉄道をなくしてはいけないと思い、自分にできることとして、内部・八王子線を応援してくれる人を増やそうと、インターネットでその魅力を発信することから始めました。そのために、月に1,000枚もの写真を撮っていた時期もありました。おかげで沿線で、いつ、どこに、どのような花が咲くかも分かるようになりました。



このような活動が反響を呼び、多くの人とつながりができました。そのつながりの中で、これからのまちづくりにおける公共交通の必要性を学び、お互いに共感してNPO法人として会を立ち上げました。会では、駅の掃除や花植え、沿線ウォーキング、交通や環境のシンポジウムへ出展をするなど幅広い活動を行っています。



「エコまつり」に出展 (旧環境学習センター)

みんなで花植え、掃除を実施 (小古曾駅)



上野理志さん

NPO法人「四日市の交通と街づくりを考える会」の理事長として、まちづくりの観点から公共交通の重要性を伝える活動をしている上野理志さんにお話を聞きました。
 上野さんは市が主催する内部・八王子線利用促進協議会の委員でもあります。

○現役の産業遺産

四日市あすなろう鉄道は、100年以上前に開業したナローゲージ（特殊狭軌）で、歴史的価値の高い貴重な存在です。産業遺産とも言えるこの鉄道が、たくさんの人の交通手段として、現役で稼働していることはすごいことです。四日市の貴重な財産を絶やしてはいけません。そのためにも、もっと観光資源として活用して、四日市の自慢にしたいですね。



○まちづくりの観点から

車社会の発達で、その必要性が見失われつつあった公共交通ですが、これから人口が減り、高齢化が進む中で、公共交通は再び必要性が増してくるはずで、公共交通を活用することで、財政負担の少ないコンパクトなまちづくりができるのでバスや鉄道など交通手段の選択肢を維持することは、豊かなまちづくりにつながると考えます。これからも、将来に向けてのまちづくりという観点から、公共交通の重要性を啓発していこうと考えています。

『交通事故・借金問題・相続・離婚・不動産・その他法律問題』で
 お困りではありませんか？
 「安心してご相談ください！
 一人一人私が丁寧に
 対応します！」

◆土曜日や夜間も対応可です◆
尾市法律事務所 059-350-2080
 弁護士 尾市淳二 (三重弁護士会所属) (旧日弁連交通事故相談センター三重県支部副議員・鈴鹿市及び西宮市法律相談担当弁護士)

近鉄四日市駅から徒歩1分！南近鉄口駅すぐ！

◆交通事故・借金問題のご相談は無料です◆
 ◆一般法律相談料(30分) 30分 5,000円(税込)◆

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。